

学校だより 	 令和6年 9月号 9月2日発行	教育目標 やさしさ つよさ たくましさのある さくら小の子 大島町立さくら小学校 〒100-0102 大島町岡田字長坂 113 Tel 04992-2-8021・04992-2-8024 Fax 04992-2-8853 E-mail 02T000@izu-oshima.ed.jp 大島町立さくら小学校 検索
--	--	--

出船入船

校長 石原 一彦

元気な子供たちの声が帰ってきました。一人一人の夏休みの心に残っている話を聞いてみたいと思います。

夏季休業中にはパリオリンピックが開催されました。東京オリンピックがコロナ禍のため1年延期されたため、4年ではなく3年を経ての開催でした。パリオリンピックでも、日本選手の活躍が目立ち、日本選手のメダル獲得数は、金20銀12銅13 合計45個でした。個人的には、ゴルフの松山選手の銅メダルが印象に残っています。これからパラリンピックも始まります。出場選手の活躍に期待します。

さて、表題の「出船入船」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。夏季休業中には、出張のため電車に乗る機会が多くありました。混雑した電車に乗るのも久しぶりの事でしたが、駅に到着した際のアナウンスで、「降り乗りは、前の人に続いて…」という言葉聞いて、「降り乗り」という言葉が完全に定着していると感じました。私の子供の頃は、「乗り降り」と言っていました。電車が到着すると、我先にと車内に乗り込み、自分が座る席だけでなく、同伴者の分まで座席を確保する人をよく見かけました。こんなときに父から聞いた言葉が「出船入船」でした。「出船入船」とは、船が港の入り口付近を航行する場合、入ってくる船より、出ていく船が優先することを言います。これは、港則法という法律によって定められています。出ていく船が出られないと入ることもできないからという単純な理屈だと思うのですが、「降り乗り」という言葉と語順が共通していることがわかります。私は、「出船入船」という言葉を知ってから、電車に限らず出入り口（特に入り口の場合）にくると「出船入船」という言葉を思い出し、出ようとする人がいると脇に寄るよう心がけています。「出船入船」はルール、「降り乗り」は、マナーですが、「降り乗り」という言葉の定着とともに、前述のような我先にという人も減ってきているのではないかと思います。

話は変わりますが、出船入船というワードをネット検索すると、検索結果に表示される項目が興味深いものだったので紹介します。出船 入船は、文字通り、船が港を出ること、港に入ることですが、船を接岸するときに港の入り口に向かって停泊することを出船、陸側に向かって（入ってきたまま）停泊することを入船とも言うそうです。これが転じて、靴の脱ぎ方でも入ってきたままの靴の向きを入船、反対向きに揃えていると出船と呼ぶそうです。

暑い日が続きますが、運動会の練習も始まります。体調管理には十分にお気を付けください。

【お知らせ】

図工と家庭科を担当してきた松下 洋一教諭は、ご家族の都合により9月12日の任期満了に伴って退職することになりました。これに合わせて代替の教諭を探していましたが、まだ適任者が見つかっていません。ご心配をおかけし申し訳ありませんが、学習の進行に支障のないよう対応していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「ものを大切にしよう」

9月 生活目標担当 小杉 東子

「ものを大切に使う」という言葉を調べてみると、「物を丁寧に扱い、愛着をもって手入れしながら使うこと」と出てきます。みなさん、毎日使うランドセルをはじめ、文房具などの自分の道具に愛着をもって使っていますか？また、学校にあるみんなで使うボールなどのスポーツの道具や図工や理科などで使う道具、音楽の楽器など、さまざまな物を丁寧に扱っていますか？9月は運動会をはじめ、さまざまな物を使う時期でもあります。よく赤白帽など誰のかわからない物が落ちている時があります。ぜひ、自分の物には責任をもって、大切に使う気持ちをこめて名前を書くようにしましょう。また、みんなで使う物にも、来年以降も気持ちよく使ってもらえるよう、丁寧に扱っていくようにしましょう。

水泳学習・校内水泳記録会

水泳担当 薊 優介

今年度の水泳学習、大きな事故やけがもなく、終えることができました。1学期中は悪天候や水質のトラブルにより、実施回数が少なくなりましたが、どの子も自分の目標に向かって、一生懸命練習することができました。

「水が怖くてプールいやだな。」と水泳学習が始まる前に呟いていた子がいました。さくら小学校では、赤台といって水の中に入れて水深を浅くする台を用いて指導を行いました。児童の水に対する恐怖心を少しでも減らし、伸び伸びと学習に取り組めるようにするためです。先日、水を怖がっていた子に聞いてみたところ「少し泳げるようになって楽しい!」と嬉しそうに教えてくれました。水泳はまず水に親しむところから始まるので、赤台を用いた指導はとても有効なのだと感じることができました。

また、7月25日には校内水泳記録会を実施しました。どの子も自分の種目に真剣に取り組み、他の子のことを大きな声で応援する姿が見られました。中でも印象に残っているのは「アクアビクス～やってみよう～」です。実際に踊っている子どももちろん素晴らしい踊りでしたが、応援している子たちが常に声援、かけ声などで一緒に盛り上がっていてさくら小学校の絆の深さを感じられました。

保護者の皆様、今年度の水泳学習、様々な面でご協力いただきましてありがとうございました。来年度以降も安全に留意した学習を行うことができるよう努めてまいります。

大島町水泳大会

水泳大会担当 伊藤 貴之

思いをつなぐ子供たちの姿にー

「いい泳ぎだったよ!」「次、がんばってね!」と何度もハイタッチを交わす子供たち。この姿に心を揺さぶられた一日となりました。では、なぜ子供たちは自然とこんな姿になったのでしょうか。それは、おそらく特別な時間を共に過ごしたからだと感じます。全体の夏季水泳の後に、町水練習の日に、自分たちだけ「特別」に練習をしました。その共に努力した時間が子供同士をつなぎ、水泳という競技でつながったのでしょう。まさに見えないボタンをつなぎリレーのようでした。



島ではできない学びを!～移動教室～

6年担任 阿部 幸太

「暑い!」という言葉とは裏腹に、どこか満足げな表情を浮かべる子どもたち。例年より暑い時期となり熱中症を心配して出発しましたが、そんな心配をよそに、子供たちは元気いっぱい2泊3日を過ごしてきました。「島ではできない学びを!」をスローガンに、さまざまな体験を通して大いに学び、友達と寝食を共にすることでたくさん話し、たくさん協力して、友情を深めました。



国語の授業で、移動教室の楽しみを短歌にまとめましたのでご紹介します。

○たのしみは 千葉工大で 未来の技術 目キラキラと かがやくときかな【川村悠稀】

○たのしみは JICAで知った 水のこと みんなで考え 頭働かす【浅沼綾乃】

○やり切った 移動教室 学びに協力 みんなでカキカキ 成長するとき【渡部清和】

○たのしみは 芝税務署で「税をおさめる」 大人になったら 納税義務かな【佐々木慧】

○たのしみは ガラスの床で見る地面「ばくも建てるぞ!」でっかいものを!【白井桜喜】

○たのしみは みんなの前で お土産を 受け取り心 はずませる時【中川夏希】

総合的な学習の時間に自分の将来について考えてから出かけたので、仕事やキャリアについて考えたり感じたりした子も多かったようです。友情を深めた6年生、2学期も目が離せません。

一人一人が全力で駆け抜け、さらなる成長を見せてくれることでしょう。移動教室の短歌は、9月6日(金)まで6年教室近くの廊下に掲示しています。よろしければ、ご覧ください。

行事予定はホームページで公開しています→

(事務室前に、行事予定を印刷したものを用意しています。必要な方は、ご自由にお取りください。)



電話回線が増えました。

これまでの「2-8021」に加え「2-8024」も使えるようになりました。